

令和元年度 第1回総合教育会議次第

日 時 令和元年11月1日(金)  
午後3時から  
場 所 本庁舎401会議室

1 開会

2 挨拶

3 議題

(1) 今後の外国人教育のあり方について

①外国人児童生徒等に対する教育の現状と課題について・・・・・・・・資料1

②就学前外国人の保育・幼児教育の現状と課題について・・・・・・・・資料2

③多文化こどもサポートセンターについて・・・・・・・・資料3

(2) 市立大門わかば幼稚園の認定こども園化について・・・・・・・・資料4

(3) その他

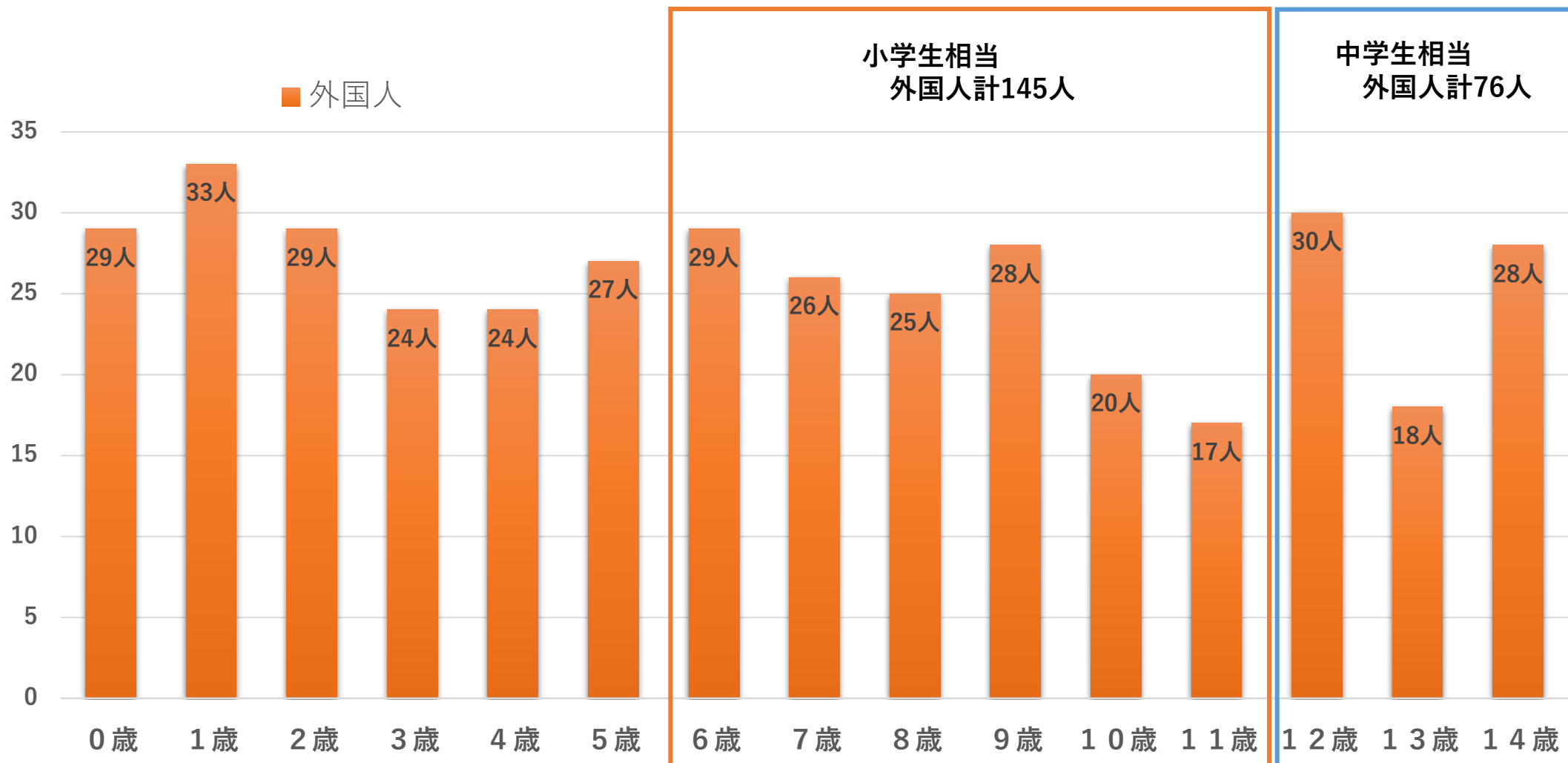
4 閉会

# 外国人児童生徒等に対する教育の現状と課題

学校教育課

# 外国人年齢別人口統計表（平成31年4月1日現在）

住民基本台帳より

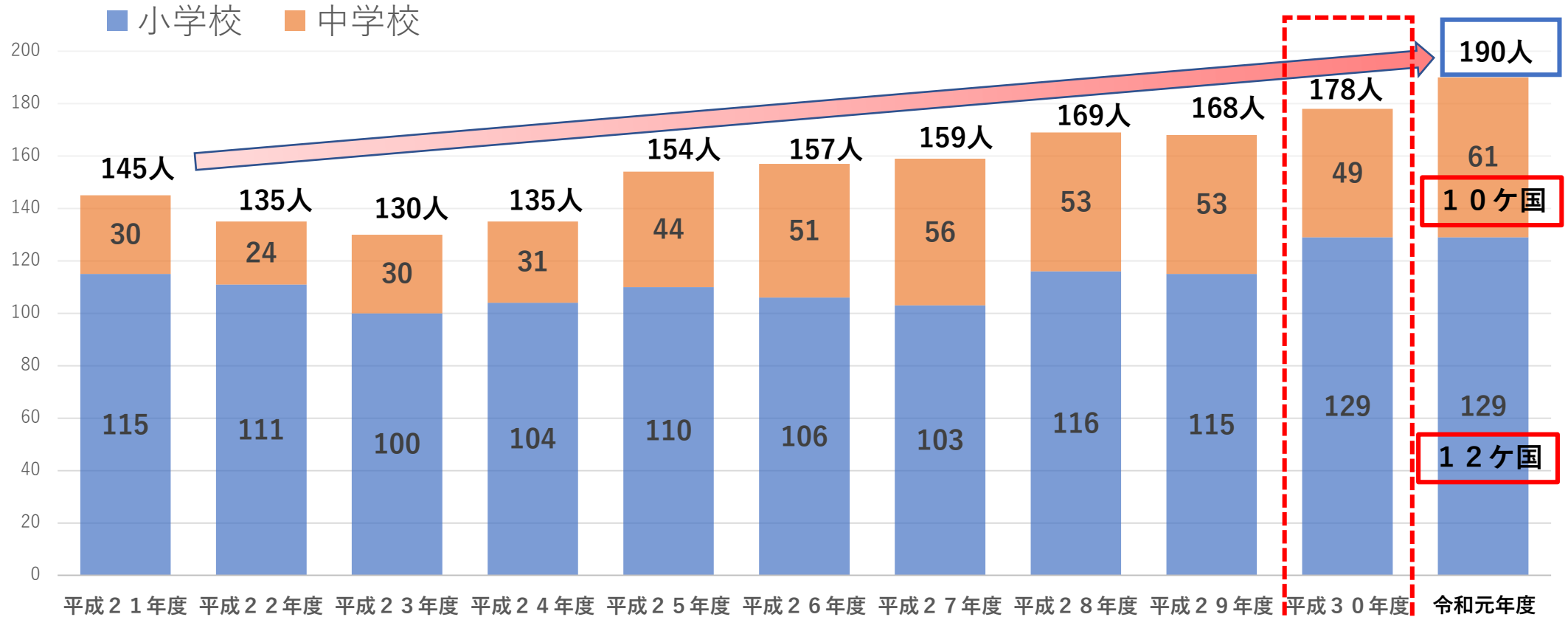


# 市立学校に在籍する外国人児童生徒数（1）

小・中学校に在籍する外国人児童生徒は、増加傾向にある。外国籍の児童生徒は10年間で約1.3倍増

各年度学校基本調査（5月1日）より

【市内小・中学校に在籍している外国人児童生徒数】

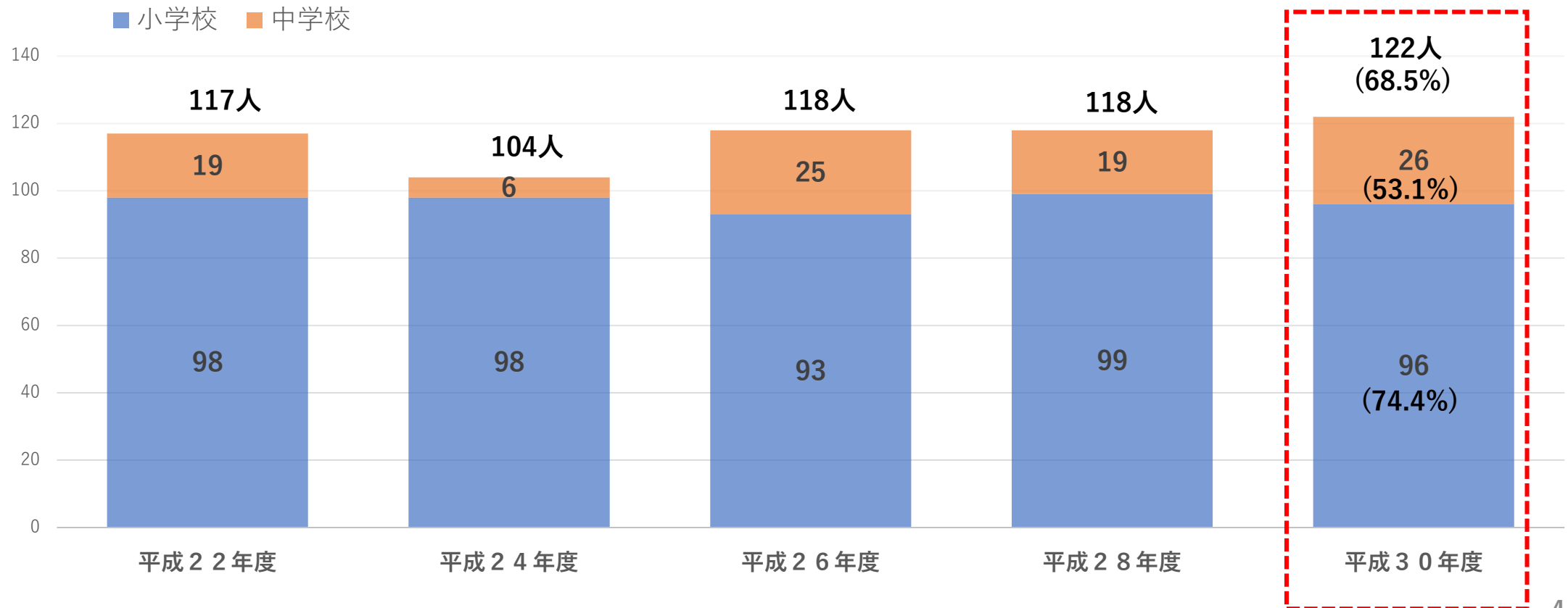


# 市立学校における日本語指導が必要な児童生徒数

小・中学校における日本語指導が必要な児童生徒数は、近年は約120人で推移

日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査（隔年調査）より

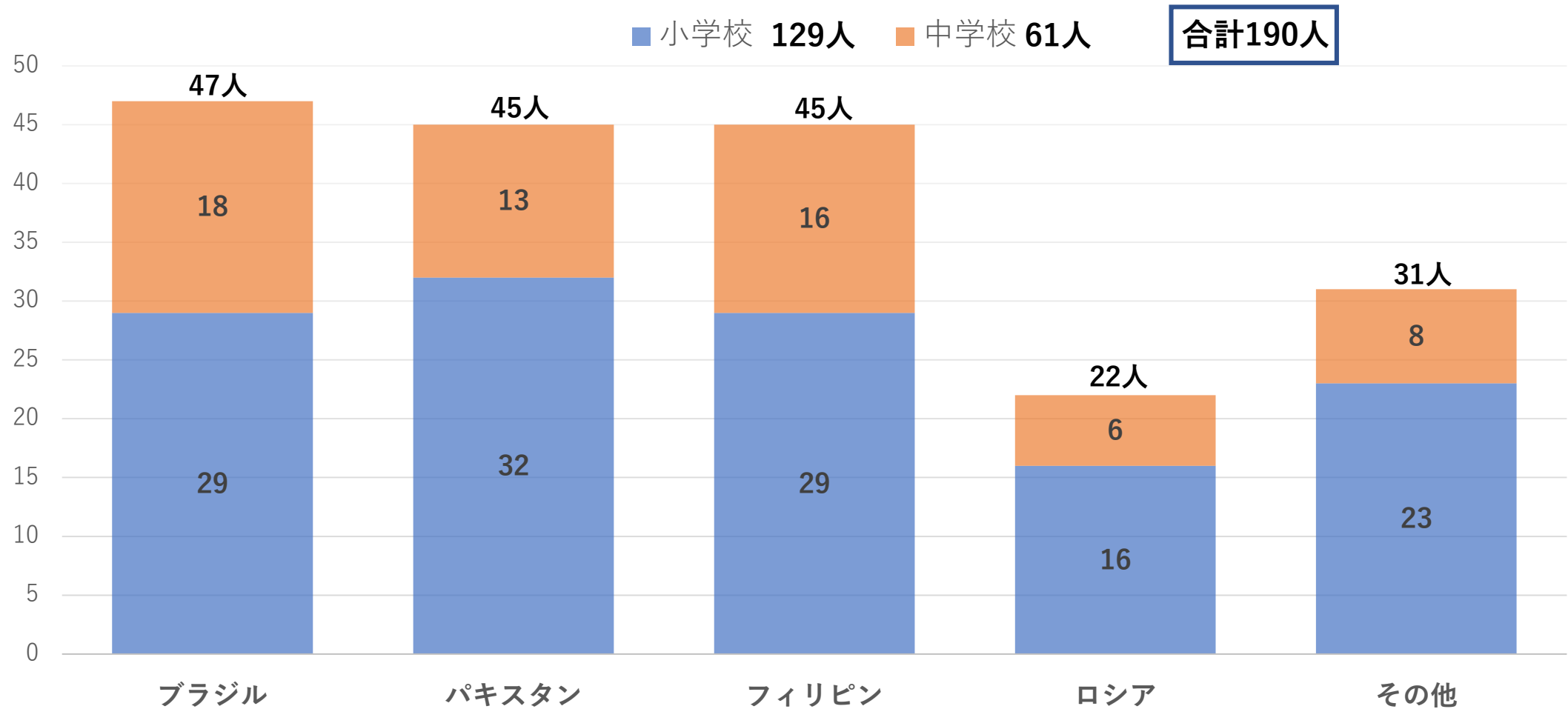
【市内小学校、中学校に在籍している日本語指導が必要な児童生徒数】



# 市立学校に在籍する外国人児童生徒数（２）

【国籍別児童生徒数】

令和元年度学校基本調査（５月１日）より

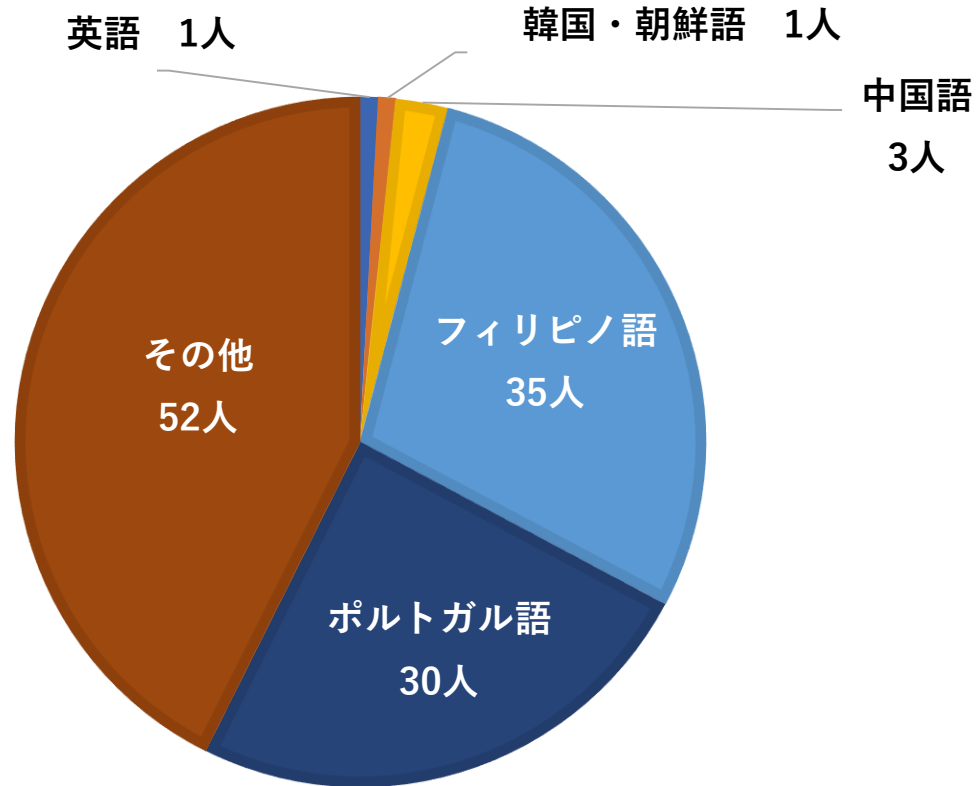


# 外国人児童生徒等に対する日本語指導の現状（1）

日本語指導が必要な児童生徒が多様化している

平成30年度年度日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査(5月1日)より

【外国籍児童生徒等の母語】 (小学校96人、中学校26人 合計122人)

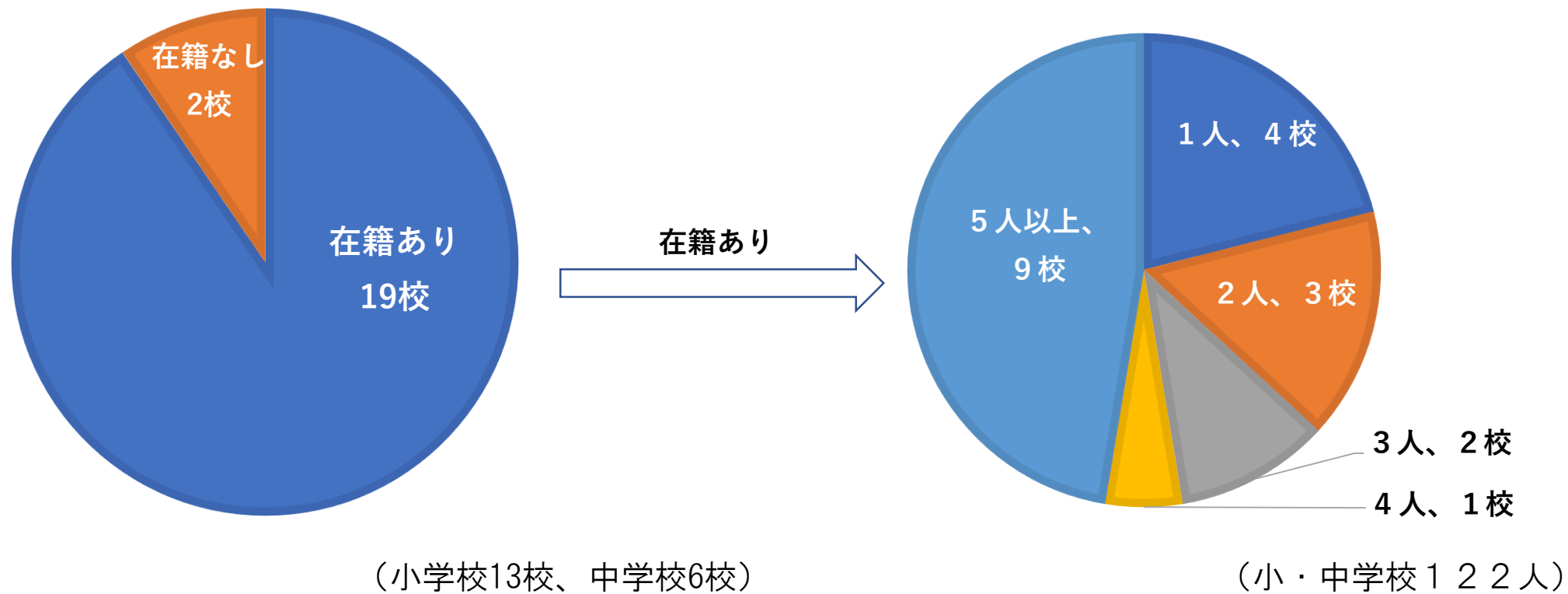


## 外国人児童生徒等に対する日本語指導の現状（２）

日本語指導が必要な児童生徒には散在化の傾向がみられる

平成30年度日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査(5月1日)より

【小・中学校に日本語指導が必要な児童生徒が在籍する学校数】





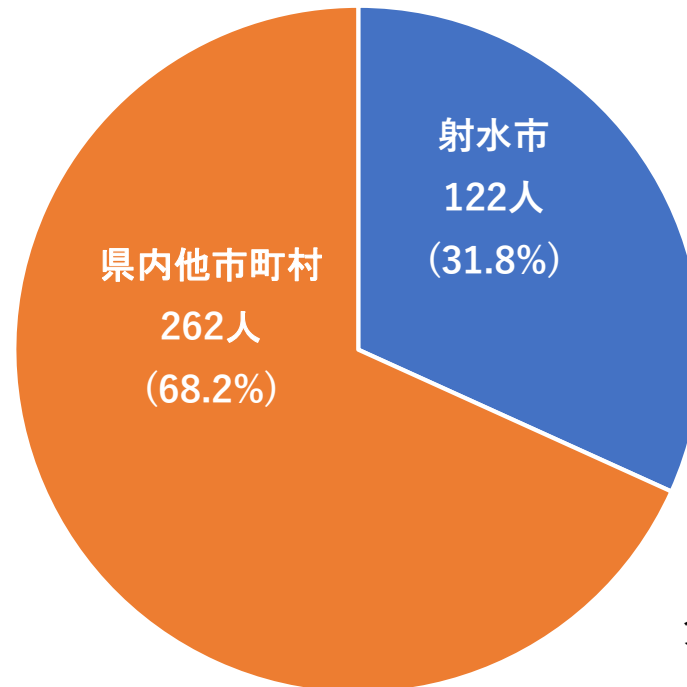
## 【参考】 県内の市町村立学校における日本語指導が必要な児童生徒数の状況

日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査（平成30年度調査）厚生労働省資料

【小学校、中学校に在籍している日本語指導が必要な児童生徒数】（県内状況）

### 日本語指導を要する児童生徒数

富山県合計384人



資料出所：富山県総合政策局国際課  
「富山県外国人材活躍・多文化共生プラン」  
（令和元年9月策定）

# 本市における外国人児童生徒等に対する支援施策について

## ○外国人児童生徒等に対する日本語指導の充実のための教員配置

学級数等から算定されるいわゆる基礎定数とは別に、外国人児童生徒の日本語指導を行う教員（加配教員）を小学校6校、中学校2校に配置し、別室で少人数による個別指導を行うなど、児童生徒の実態に応じて日本語指導を行っている。

## ○外国人相談員の配置

9人の母語を話せる外国人相談員（県費9人、市費2人）が、小学校10校、中学校4校、計14の小中学校に配置し、単に通訳としてだけでなく、児童生徒の学習補助や保護者からの様々な相談に対応している。（言語の種類12カ国語）

## ○外国人児童生徒教育の手引等の活用

国が作成した日本の教育制度や就学の手続き等をまとめた就学ガイドブック（ポルトガル語、中国語等7言語）や県教育委員会作成の外国人児童生徒教育の手引きを活用し、外国人児童生徒の指導や保護者への対応にあたっている。

## ○県に対する要望

日本語指導が必要な児童生徒が増加することが予想されることから、県に対して、外国人児童生徒教育を担当する教員の加配や外国人相談員の配置拡充を要望している。

## 外国人児童生徒に対する課題

### 【支援制度に関する課題】

- 日本語指導を行う教員の配置が不十分であり、児童生徒の実態に応じた日本語指導が十分に行えない。
- 外国人相談員の勤務できる時間が少なく、また、対応できる言語が不十分であり、児童生徒への指導や保護者への説明が十分に行えない。
- 複数校の日程が同一日に集中する行事（保護者会等）の際には、多くの学校で外国人相談員を必要としているが、対応できる外国人相談員の人数が不足している。県教育委員会に要望しているが増員されない。
- 学校や日本文化を理解し、求められる言語を使って子供や保護者の相談に応じることのできる外国人相談員になる人材そのものが不足している。

### 【児童・生徒・保護者に関する課題】

- 生活習慣、文化の違い、コミュニケーションの不足等により、外国人児童生徒に関するトラブルや問題行動が増えている。
- 文化の違いにより、学校集金の未納や家庭の事情による児童生徒の欠席など、外国籍の保護者の対応が難しい。

## 資料 2

子育て支援課

## 就学前外国人の保育・幼児教育の現状と課題について

## 1 外国人園児数（令和元年9月1日現在）（人）

		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
北 西 地 区	放生津保育園							0
	八幡保育園			2	1		2	5
	新湊保育園				1	2	2	5
	新湊西部保育園			1			1	2
	塚原保育園							0
	新湊中部保育園							0
	新湊作道保育園				1	1		2
北 東 地 区	片口保育園		2		1	1	1	5
	七美幼稚園						2	2
	認定こども園海老江こども園		1	1	1	2		5
	堀岡保育園	1		2	4		2	9
南 東 地 区	金山保育園							0
	大江保育園							0
	千成保育園		5	1	1	5	3	15
	池多保育園							0
	下村保育園		2	1				3
	黒河保育園							0
	杉の子保育園		1					1
	あいあい保育園							0
	認定こども園小杉東部保育園			1				1
	認定こども園太閤山あおい園			1	1	2		4
	小杉西部保育園							0
	認定こども園あおい幼稚園				1	1		2
認定こども園第三あおい幼稚園		1	2	1			4	
南 西 地 区	大門きらら保育園				1			1
	大島南部保育園			1				1
	大門わかば幼稚園						1	1
	水戸田保育園							0
	大島つばさ保育園				1		1	2
	射水おおぞら保育園	1					1	2
		2	12	13	15	15	15	72

※市内施設の在園児数 3, 248人

## 2 外国人園児及び保護者に対する主な課題

### (1) 園児に対する課題

- ア 日本語が分からないので、不安感が強く、安定させるのに時間を要する。
- イ 保育士の指示が理解できず、何をどうすればよいのか分からない。

### (2) 保護者に対する課題

- ア 言葉や習慣、感性の違いなどから、保護者とのコミュニケーションがとりにくく、信頼関係が築きにくい。
- イ 園からの便りや連絡事項の内容を理解してもらうのが難しい。
- ウ 園児の日常生活や体調の変化を情報交換する際、お互いの伝えたいことが伝わらず困ることが多い。
- エ 時間にルーズで、登降園時間が自由だったり、決められた集合時間が守られなかったりする。
- オ 配慮が必要なお子さんに療育が必要であるという旨を伝えたいが、保護者の理解や協力を得ることが難しい。
- カ 保育料、諸費などの納入延滞が多く、催促の手間、配慮に時間を要する。

## 多文化こどもサポートセンター事業(外国籍児童の支援)

## 1 目的

保護者が日本語の理解が不十分である等の理由により、宿題をみることのできない家庭の児童に対し、家庭に代わる学習の場を提供しサポートすることにより、児童の健全な育成を図るとともに、児童を通じ外国籍住民（保護者）との交流、多文化共生社会の実現を推進する。

## 2 事業主体

地域振興会

## 3 対象者

外国にルーツを持つこども等（未就学児、小中学生）

## 4 内容

学校の宿題の手伝い、遊びを通じた日本語習得支援等

## 5 実施場所

太閤山コミュニティセンター

## 6 予算

248,000円〈地域型市民協働事業交付金〉

(内訳：謝金@1,000円×3人×50回、教材費等購入費、保険料、  
通信運搬費等、管理手当@850円×8h×5日)

## 7 経緯

平成19年 県が「外国籍こどもサポートプロジェクト」をスタート

平成21年 モデル地区として「放生津センター」「太閤山センター」  
を位置付け

平成23年 射水市へ事業を引き継ぎ、市民協働事業として実施

平成26年度末 利用者の減少に伴い、「放生津センター」を閉鎖

## 8 実績(平成30年度実績)

登録者25人、延べ人数 176人、開講回数 42回

内訳：パキスタン9人（小学生 3年生 2人、4年生 1人、6年生 1人、  
中学生 1年生 1人、2年生 2人、3年生 1人、  
高校生 2年生 1人）

ブラジル1人（小学校 6年生 1人）、インド1人（小学校 4年生 1人）、  
フィリピン2人（小学校 3年生 1人、5歳 1人）、

日本12人（小学生 2年生 1人、3年生 4人、  
中学生 3年生 6人、高校生 3年生 1人）

(参考1)

射水市外国人住民国籍別人員表(上位5国:平成31年1月1日現在)

凡例:( )外国人総数に占める割合

外国人総数	1位	2位	3位	4位	5位	市全体数 (日本人+外国人) ( )内は外国人総 数が占める割合
2,421人 (100.0)	フィリピン 461人(19.0)	パキスタン 379人(15.6)	ブラジル 362人(15.0)	中国 357人(14.7)	ベトナム 328人(13.5)	93,084人 (2.6)

※上記各国の母国語:フィリピン フィリピン語、英語、パキスタン ウルドゥー語、ブラジル ポルトガル語

中国 中国語、ベトナム ベトナム語

※改正入管法(平成31年4月1日施行)により、特定分野14分野に新たに在留資格が創設され、今後、外国人住民の増加が想像される。

(参考2)

地区別外国人数(平成31年3月31日現在) 凡例:( )外国人総数に占める割合

外国人総数 下段:内数 12歳以下	新湊地区	小杉地区	大門地区	大島地区	下地区	市全体数 (日本人+外国人) ( )内は外国人総 数が占める割合
2,463人 (100.0)	1,315人 (53.4)	783人 (31.8)	185人 (7.5)	158人 (6.4)	22人 (0.9)	92,867人 (2.7)
341人 (100.0)	219人 (64.2)	105人 (30.8)	7人 (2.0)	6人 (1.8)	4人 (1.2)	

(参考3)

小杉地区の12歳以下の外国人数

H20年度末 127人、H25年度末 101人、H30年度末 105人(H20対比△22人)

太閤山地区の12歳以下の外国人数

H20年度末 106人、H25年度末 78人、H30年度末 80人(H20対比△26人)

(参考4)その他の支援事業

「ワイワイにほんごたいこうやま」(射水市民国際交流協会が補助)

・概要 コースは以下の3コース ・開催日 第二・第四土曜日 19:00~20:30

- ① おとな入門クラス(日本語の基本を学ぶ)
- ② おとな活動クラス(お互いの考えや文化・習慣を知り、多様性を学ぶ)
- ③ 子供クラス(勉強のお手伝いや進学相談)

・場所 南太閤山コミュニティセンター ・主催 太閤山日本語グループ

## 市立大門わかば幼稚園の認定こども園化について

## 1 施設名

認定こども園大門わかば幼稚園

## 2 定員予定

クラス年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
幼稚園部	—	—	—	15	20	20	55
保育園部	—	6	12	若干名 (※)			18(※)
定員計	—	6	12	15(※)	20(※)	20(※)	73(※)

※入園希望の申し込み状況により決定

## 3 開園日及び開園時間

## (1) 開園日

平日月曜から金曜日（土曜、休日、祝日、お盆、年末年始は休園日）

※幼稚園部の長期休業期間は従来どおり

## (2) 開園時間 8:15～16:30

幼稚園部 教育時間 8:30～14:30

預かり保育 14:31～16:30 ※長期休業期間 9:00～16:30

保育園部 保育時間 8:15～16:15（短時間認定児童のみ受入）